

包装にまつわる最前線を網羅！90超の多彩な併催プログラムで 関係業界の最新動向や未来を切り拓くアイデア・ヒントを発信！

■ 特別企画『包装×DX』『包装×GX』コーナー

新企画！

特設コーナー内だけでなく、公式サイト、出展ブース、さらには会場内のあらゆる場所とリンクし、来場者のあらゆる課題に対するソリューションを提案します！

■「包装×DX」コーナー

問題提起／課題解決／将来構想の3つのエリアで構成され、工場や生産ラインにかかる「生産性向上」「リモートメンテナンス」「人手不足解消」「属人化解消・技術伝承」の4つの重点課題に対して、包装業界の考えるDX施策やスマートファクトリー化事例を打ち出します。



■「包装×GX」コーナー

われわれ包装業界が貢献できる地球環境問題に対し、「機械と資材の環境配慮設計」「省エネ・省資源」「包材使用量の削減」「食品ロス削減」の4つのカテゴリーを切り口に課題解決へと導きます。



■ Startup & Academic Area

規模拡大！

共創や協業、投資パートナーとのイノベーション推進を目的に、スタートアップ企業をはじめ、教育研究機関によるAI・生成AI・深層学習を組み込んだDX施策や新素材・代替素材、環境配慮設計といったGX施策など、最先端の展示・隣接会場でのピッチで提案します。

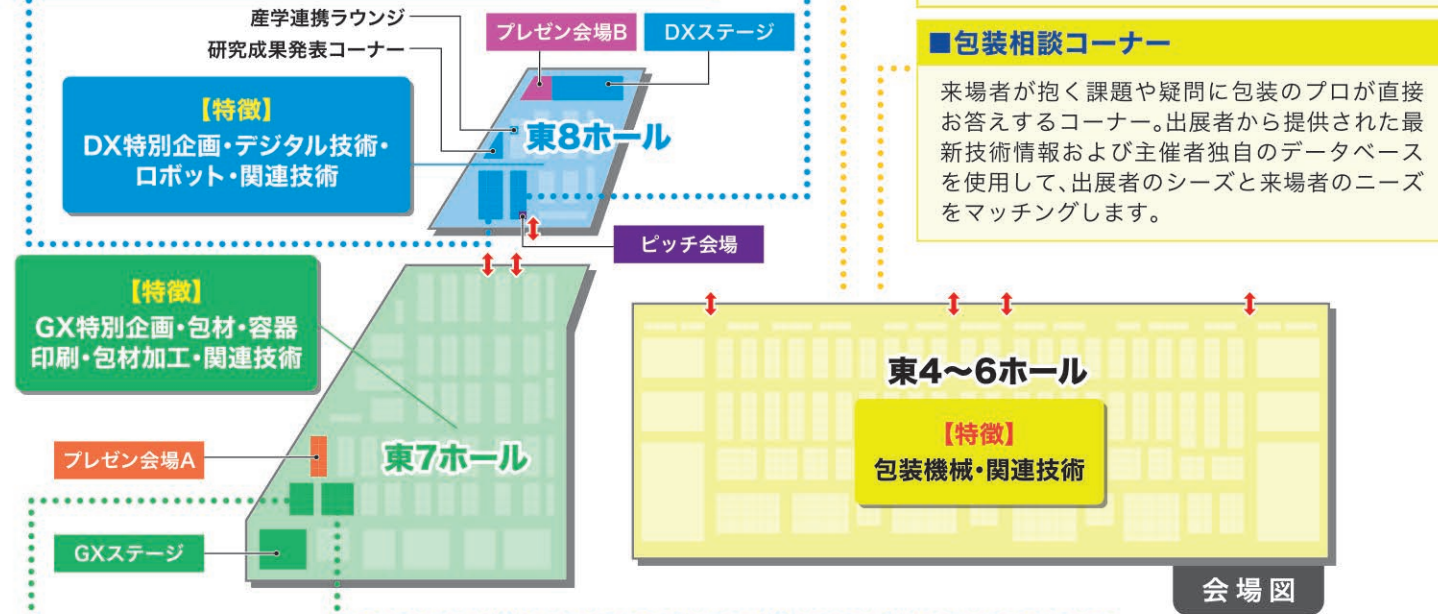


■ JAPAN PACK AWARDS 2025

本展出展者が新規性・独創性を発揮して全力で取り組んでいる技術研究・開発の成果を広く発信し、新製品・新技術の創出促進を目的として実施している表彰制度です。安全性・衛生性、生産性向上、品質向上、省資源・省エネ、省人化等の課題解決につながる製品および技術に対し、特に優秀と認められるものをパネル展示。会期2日目には表彰式を举行します。

■ 包装相談コーナー

来場者が抱く課題や疑問に包装のプロが直接お答えするコーナー。出展者から提供された最新技術情報および主催者独自のデータベースを使用して、出展者のシーズと来場者のニーズをマッチングします。



■ 包装ライフサイクルコーナー

ブランドオーナーも初参加！

包装産業の業界展というステージにおいて、個社では困難な壁もステークホルダーが一丸となって展示を行う他にはないオリジナルの特設コーナーです。現在から近未来(2030年)までの具体的な目標や数値情報、マイルストーンのほか「調達／設計／製造／充填／包装／使用／回収／排出／再生」の6つの包装ライフサイクルを視点とした協業事例を多数表現します。



■ CLOMAパビリオン

過去最大の展示規模！

CLOMA会員【26社・団体】が出展し、新素材・代替素材の提案、プラスチックの適正使用、環境配慮設計、廃棄ロス削減、3R+Renewableの推進、環境デジタルソリューションなど容器包装の新たな役割や付加価値を発信します。



東京ビッグサイトへの交通案内

東京ビッグサイトへのご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

■ りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分

大崎駅(JR) ◀ 約14分 ▶ 国際展示場駅
新木場駅(JR、東京メトロ) ◀ 約5分 ▶ 国際展示場駅

■ ゆりかもめ「東京ビッグサイト」駅下車 徒歩約3分

新橋駅(JR、東京メトロ、都営地下鉄) ◀ 約22分 ▶ 東京ビッグサイト駅
豊洲駅(東京メトロ) ◀ 約8分 ▶ 東京ビッグサイト駅

■ 都営バス

東京駅八重洲口・東京駅丸の内南口(約40分)
東京メトロ東西線・都営地下鉄大江戸線 門前仲町駅(約35分)

■ 無料巡回バス

りんかい線「国際展示場」駅と「東7ホール」間を約10分間隔で巡回運行

■ 東京ビッグサイト [東展示棟4-8ホール]



お問合せ

一般社団法人日本包装機械工業会「JAPAN PACK 2025」運営事務局

所在地: 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階 TEL: 03-6222-2277 E-mail: japanpack@jpmma.or.jp

案内状

BEYOND

包むで創る 人と未来と
Create the Future of Packaging Together

JAPAN PACK 2025 日本包装産業展

2025.10.7 tue. - 10 fri. 10:00-17:00 東京ビッグサイト 東展示棟 4-8ホール

「包装×DX」「包装×GX」がサプライチェーンに新たな価値を創出！

トレンド・イノベーション・課題解決策が一堂に会する“NEXT STAGE”

■ 出展分野

- 包装機械／荷造機械 ●包装資材・容器 ●印刷機械・関連機器／包材加工機械
- ロボット／機械部品・要素技術／包装関連機械／検査機・検出機 ●食品加工機械・関連機器
- 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器 ●環境対策機械・関連機器 ●衛生管理機器・資材
- 物流機械・関連機器／店舗設備機械 ●デジタル技術／ソフトウェア ●エンジニアリング・システム
- 団体／プレス／研究・教育機関／人材サポート／その他

■ 主な来場対象分野

- 製パン・製菓 ●食肉・水産物 ●農産物 ●麺類 ●調理食品 ●飲料・乳製品 ●その他食品 ●医薬品
- 化粧品 ●日用品 ●化学品 ●繊維 ●雑貨・文具 ●鉄鋼 ●輸送機器 ●電気 ●小売・流通・EC ●商社
- 受託製造／包装 ●その他サービス業 ●包装機械 ●機械・機器部品 ●ロボット ●包装材料・容器
- 印刷 ●パッケージデザイン ●情報機器・ソフトウェア ●設備・建築 ●エンジニアリングシステム
- 官公庁・団体 ●教育機関・研究機関 ●一般・個人 ●学生 ●報道関係者 ●その他



最新情報、来場事前登録や各種セミナーのお申込みはこちら ▶ www.japanpack.jp



ご入場までの流れ

予め来場事前登録を
お願いします

※来場事前登録開始は8月4日、
各種セミナーの申込み開始は
9月1日からの予定です。

1 来場事前登録



公式ウェブサイトアクセスして
来場事前登録を行ってください。

2 入場証を出力



入場証をご自身で
プリントアウトしてください。

3 入場証を持参



入場証を首掛けホルダーに入れて
ご入場ください。
※首掛けホルダーは会場にご用意しております。

出展者名			
ホール番号		小間番号	

主催 (一社)日本包装機械工業会 特別協力 (公社)日本包装技術協会

後援 経済産業省／(独)日本貿易振興機構／(独)中小企業基盤整備機構／(独)東京都中小企業振興公社／日本商工会議所
東京商工会議所／(株)東京ビッグサイト(以上、予定を含む)

包装業界の“いま”と“これから”が見える講演・セミナーを毎日開催！ 体験を通じて特徴や魅力への理解を深める各種ツアーも随時実施！

10月7日(火)

DXステージ【東8ホール内】

■ 11:00-11:50 基調講演
製造業に対する最新のDX政策について(仮題)
経済産業省 製造産業局 産業機械課(予定)

■ 13:40-15:10 特別セッション
食品産業を支援する技術政策について
阿辺 一郎 氏【農林水産省 新事業・食品産業部 原材料調達・品質管理改善室 室長】
味の素グループが実現するスマートファクトリーと生産設備データ標準化の取り組み(仮題)
海老澤 明彦 氏【味の素食品(株) DX戦略推進部 変革推進グループ長】

■ 15:40-16:30 JAPAN PACKセミナー
“人が足りない現場”を変える！IoTで進める自動化への取り組み
稲葉 清典 氏【Brain Edge(株) 代表取締役社長】

GXステージ【東7ホール内】

■ 10:20-11:10 基調講演
成長志向型の資源自給経済の確立に向けた取り組み
三牧 純一郎 氏【経済産業省 イノベーション・環境局 資源循環経済課長】

■ 11:40-12:30 特別講演
包装容器のGX/グリーントランスフォーメーションは、新たなシェアバランス競争で加速する
～持続可能な社会に向けた素材・包装设计・充填・消費・回収・循環の現状と課題～
神崎 敬三 氏【東洋製罐ホールディングス(株) 参与/ (公社)日本包装技術協会 理事】

■ 13:00-14:00 特別講演
CLOMAのCircular 30 by 30 チャレンジ
澤田 道隆 氏【クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA) 会長/花王(株) 特別顧問】

■ 14:30-16:30 CLOMAパネルディスカッション
パネリスト：セブン&アイHL DGS、目指すサーキュラー・エコノミー
尾崎 一夫 氏
【(株)セブン&アイ・ホールディングス ESG推進本部
サステナビリティ推進部 シニアオフィサー】

ヤクルトグループにおける資源循環の取り組み
久保 昌男 氏【(株)ヤクルト本社 サステナビリティ推進部 資源循環推進課 担当課長】
パッケージを取り巻く環境変化とこれからの環境配慮パッケージ
柴田 あゆみ 氏
【大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 第3ビジネスユニット開発本部 サステナビリティ推進部 部長】

プラスチックリサイクルにおけるMIの可能性
小園 雄治 氏【丸善産業(株) 代表取締役社長】
モデレーター：連携をキーとしたサーキュラーエコノミーの実現
柳田 康一 氏【クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA) 事務局次長】

プレゼン会場A【東7ホール内】

■ 13:00-13:45
空気消費量0 フィルムに特化したイオナイザー「静電気対策機器」(仮題)
清水 雄一郎 氏【SMC(株) 国内営業部/市場開発プロジェクトリーダー】

プレゼン会場B【東8ホール内】

■ 12:40-13:25 出展者プレゼン
GS1 2次元シンボルの活用について(仮題) アルマーク(株)

■ 13:50-14:35 出展者プレゼン
商機は国境を越えて～海外展開スタートアップセミナー～ 川辺 恭寛 氏【(独)中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー】

ピッチ会場【東8ホール「Startup & Academic Area」内】

■ 11:10-11:30 (株)ウッドプラスチェックテクノロジー
「PPバンドの水平リサイクルで二酸化炭素排出量を削減」

■ 11:50-12:10 エイトス(株)「環境・労働安全衛生法令AI」

■ 12:30-12:50 (株)FingerVision
「触覚内蔵ロボットシステムが実現する包装前後工程の自動化」

■ 13:10-13:30 (株)CGworks
「3DCG空間とデータによるデジタルツ윈のソリューション」

■ 13:50-14:10 (株)EpicAI
「松尾研発スタートアップCEO登壇：製造業での生成AI活用を「やり切る」には～検証段階で陥りがちな畏～」

■ 14:30-14:50 イノテック(株)
「AIピースピックロボットによる労働集約型作業の自動化ソリューション」

包装×DX・GX見どころツアー

積極的にDX・GXを打ち出している包装機械メーカーの魅力や特徴をお伝えします！

■ 包装×DXツアー

10月7日(火) 14:00-15:00 / 10月8日(水) 12:30-13:30 / 10月9日(木) 10:30-11:30

■ 包装×GXツアー

10月7日(火) 12:30-13:30 / 10月8日(水) 11:00-12:00

包装業界見学ツアー ～学生・教職員向け～

包装について学んだ後、業界のトップ企業を見学。包装業界の魅力がまるっと体感できます。

10月7日(火)・10日(金) 10:30-12:00 / 10月8日(水)・9日(木) 15:00-16:30

10月8日(水)

DXステージ【東8ホール内】

■ 10:20-11:10 特別講演
スマートファクトリーの実現と環境にやさしい包装
高橋 誠一郎 氏【(株)日清製粉グループ本社 取締役 常務執行役員 技術本部長】

■ 11:40-12:30 JAPAN PACKセミナー
化粧品パッケージの振り返りと今後の包装業界への期待
萩野 吉宏 氏【(株)資生堂 モノづくり技術革新部 部長】

■ 14:10-15:00 JAPAN PACKセミナー
冷凍食品の魅力と冷凍食品認定制度、今後の展望について
朝川 良徳 氏【(一社)日本冷凍食品協会 品質・技術部長】

■ 15:30-16:30 JAPAN PACKセミナー
製造業DXの進化
楠 和浩 氏【早稲田大学 研究戦略センター 教授】

GXステージ【東7ホール内】

■ 10:20-11:10 特別講演
食品容器包装の資源循環をめぐる情勢(仮題)
農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室(予定)

■ 11:40-12:40 JAPAN PACKセミナー
パッケージデザインの魅力「昨日・今日・明日」を語る
(ジャパンパッケージングコンペティション入賞作を振り返りながら)
加藤 芳夫 氏【デザインのコロナ研究室・(公社)日本パッケージデザイン協会会員 JPDAパッケージデザインの学校校長】

■ 13:10-14:00 JAPAN PACKセミナー
冷凍食品業界における容器包装の環境配慮とニッスイの取り組み(仮題)
西 昭彦 氏【(株)ニッスイ サステナビリティ推進部 部長】

■ 14:30-15:30 JAPAN PACKセミナー
化粧品業界における容器包装の環境配慮について
松本 州平 氏【日本化粧品工業会 サステナビリティ推進委員会 容器包装部会 部会長/花王(株) 包装技術研究所 室長】
化粧品容器におけるPremiumとSustainabilityの共生
伊藤 健司 氏【日本化粧品工業会 サステナビリティ推進委員会 容器包装部会 委員/ (株)資生堂 ブランド価値開発研究所 グループマネージャー】

■ 16:00-16:50 JAPAN PACKセミナー 日英通訳
包装で築くサステナブルな未来ー地球を守り、人々を豊かにし、ブランド価値を高める
Wanqi Zeng 氏【Amcor イノベーションマーケティングマネージャー】

プレゼン会場A【東7ホール内】

■ 11:50-12:35 出展者プレゼン
液体充填業務の悩みを解決するクラウドサービスのご紹介
大橋 由弘 氏【大成ラミック(株) フィールドサポート部 システムサポートグループ マネージャー】

■ 13:00-13:45 出展者プレゼン
これからの製袋業界の未来について
熊谷 太郎 氏【(株)New IWASHO 取締役社長/ダックエンジニアリング(株) 経営企画・統括グループリーダー】

■ 14:10-14:55 出展者プレゼン
スモールスタートから始める製造現場可視化ソリューション
大上 純一 氏【イーデーエム(株) 営業本部東京営業部営業第二グループ マネージャー】(予定)

プレゼン会場B【東8ホール内】

■ 11:30-12:15 出展者プレゼン
パッケージ表示ミスのリスクを最小化！課題の本質とDXの第一歩
前澤 良樹 氏【(株)Too DX推進部 ゼネラルマネージャー】

■ 12:40-13:25 出展者プレゼン
印字と印刷の可能性を広げていく 坂本 礼朗 氏【(株)エムエスティ 代表取締役】

■ 13:50-14:35 出展者プレゼン
赤外光を応用した食品検査技術 夏池 由紀 氏【日新電子工業(株) 函館開発生産部 函館開発課 係長】

ピッチ会場【東8ホール「Startup & Academic Area」内】

■ 11:10-11:30 (株)アルバカ「名刺から請求書、図面まで。AI文書管理「ドキュバカ！」

■ 11:50-12:10 (株)LeanerTechnologies
「調達の未来予想図～AI・DXが描く、変革のシナリオ～」

■ 12:30-12:50 インテグリアル(株)「PLCで制御、包装機と一つになる新時代のロボット」

■ 13:10-13:30 (株)カンブライト
「ノーコードで現場DXを実現！定着する電子帳票管理「ツクルデ」」

■ 13:50-14:10 (有)大青鉄工
「[QRコードで簡単音声案内]視覚障害者のための新しい買い物サポート技術」

■ 14:30-14:50 感性AI(株)「感性可視化技術で変わるパッケージデザインの最前線」

■ 15:10-15:30 光村印刷(株)「オフセット印刷による包装材料の紙化のご提案」

10月9日(木)

DXステージ【東8ホール内】

■ 10:20-11:10 JAPAN PACKセミナー
ニチレイフーズのスマートファクトリー：自動化技術と環境配慮の最前線
塚本 真也 氏【(株)ニチレイフーズ 生産統括部 生産戦略部 生産革新グループ グループリーダー】

■ 11:40-12:30 JAPAN PACKセミナー
Jpack-Fmtの今を知り、未来を描く(仮題)
関根 豊 氏【(株)川島製作所 業務執行役員 メカトロニクス制御部 次長】

■ 13:00-14:00 パネルディスカッション「研究成果から見える日本の未来」
テーマ「包むで創る 人と暮らし 地球の未来」
パネリスト：伊早坂 嗣 氏【(一社)日本包装機械工業会 会長/ (株)川島製作所 代表取締役社長】
愛知県立大学、金沢工業大学、十文字学園女子大学、星城大学、日本女子大学
モデレーター：及川 諒太 氏【(一社)日本包装機械工業会 産学連携ワーキンググループ 委員/ (株)フジキカイ 人事部 人材開発グループ 課長】

■ 14:30-15:20 包装×DX特別セッション
オンライン部品見積りも依頼システム「OMORI Web Parts Catalog」
鈴木 俊也 氏【大森機械工業(株) 営業本部 大阪支店営業部 マネージャー】
深刻化する人手不足に向けて、物流・包装現場を変えていく。
柳瀬 弘 氏【ストラバック(株) 執行役員 営業副本部長 国内営業部長】
熟練者の「目」を超越する：食品工場での検査工程のブレークスルーと未来
中笠 雅文 氏【(株)インダ 第二開発部 システム開発二課 課長】

GXステージ【東7ホール内】

■ 10:20-11:20 包装ライフサイクルパネルディスカッション
協業によるパッケージの資源循環に向けた取組み
パネリスト：宇於崎 浩隆 氏
【三井化学(株) ICTソリューション事業本部 企画管理部 コンパチーティングCoE推進G グループリーダー】
根岸 和彦 氏【アールエム東セロ(株) 環境経営推進室 室長】
モデレーター：藤井 崇 氏【TOPPAN(株) 生活・産業事業本部 SX推進センター SX事業開発本部 新事業開発推進部 主席研究員】

■ 11:50-12:40 包装×GX特別セッション
プラ使用量の削減に貢献する包装システム「PAMS」
大塚 文彦 氏【日本ポリスター(株) 技術開発部 部長】
包装×GXで実現する環境対応印字
河田 好彦 氏【アルマーク(株) 専務取締役】
澁谷工業(株)

■ 13:10-14:10 包装ライフサイクルパネルディスカッション
リサイクルPETボトルの将来
パネリスト：古澤 栄一 氏【協栄産業(株) 代表取締役社長】
関根 章智 氏
【大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 第1ビジネスユニット 技術・開発本部 製品開発部】
モデレーター：茂木 沙緒梨 氏【大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 第3ビジネスユニット開発本部 サステナビリティ推進部 第1グループ】

■ 14:40-15:20 JAPAN PACKセミナー
グリーンプリンティング・明日を彩る印刷の未来
内藤 清 氏【(一社)日本印刷産業連合会 グリーンプリンティング推進部長 兼 事務局長】

■ 15:50-16:40 JAPAN PACKセミナー
CKDの取り組み環境に優しいPTP包装技術
河田 陽介 氏【CKD(株) 自動機械事業本部 技術統括部 包装技術部 第1G グループリーダー】

プレゼン会場A【東7ホール内】

■ 13:00-13:45 出展者プレゼン
スモールスタートから始める製造現場可視化ソリューション
大上 純一 氏【イーデーエム(株) 営業本部東京営業部営業第二グループ マネージャー】(予定)

プレゼン会場B【東8ホール内】

■ 11:30-12:15 出展者プレゼン
OPC UA for PackMML セミナー
生野 雷人 氏【(株)Empress Software Japan 技術部 主任】

■ 12:40-13:25 出展者プレゼン
初めてでも簡単に使える協働ロボットで始める包装分野の自動化
森岡 昌宏 氏【ファナック(株) ロボット研究開発統括本部 ロボット機構研究開発本部 技師長】

ピッチ会場【東8ホール「Startup & Academic Area」内】

■ 11:10-11:30 柴田科学(株)「全自動透湿度計 WVTR-1の紹介」

■ 11:50-12:10 (株)アルバカ「名刺から請求書、図面まで。AI文書管理「ドキュバカ！」」

■ 12:30-12:50 (株)FingerVision
「触覚内蔵ロボットシステムが実現する包装前後工程の自動化」

■ 13:10-13:30 BrainEdge(株)「情報自動化による省人化の実現に向けて」

■ 13:50-14:10 (株)ウッドプラスチェックテクノロジー
「PPバンドの水平リサイクルで二酸化炭素排出量を削減」

■ 14:30-14:50 POLYMERIZE(同)「MIが導く次世代包装材料開発」

■ 15:10-15:30 エイトス(株)「環境・労働安全衛生法令AI」

研究成果発表ポスターセッション

日々の様々な研究・活動について「人と暮らし」「地球の未来」をテーマに学生が発表します！

10月10日(金) 14:30-15:10 愛知県立大学、金沢工業大学、星城大学、日本女子大学
15:20-16:10 埼玉大学、埼玉大学、十文字学園女子大学、大東文化大学、
山口東京理科大学

10月10日(金)

DXステージ【東8ホール内】

■ 10:20-11:10 特別講演
Well-beingを実現するサプライチェーン改革：異業種とのアライアンスとデジタル活用
深井 雅裕 氏【日清食品(株) 常務取締役 事業統括本部長 兼 Well-being推進部長】

■ 11:40-12:30 包装×DX特別セッション
管理棟・事務室からのリモートメンテナンス
中西 順一 氏【イーデーエム(株) プロダクト推進本部 執行役員 統括部長】
見える化と予知保全への取り組み
平 慶大 氏【(株)トバック 営業部 課長】
磁気浮上型搬送システムと映像技術で実現する次世代包装システム
石田 敏夫 氏【(株)フジキカイ 技術本部 制御設計部 次長】

■ 13:00-13:50 JAPAN PACKセミナー
DXと梱包で創る物流の未来！
自動化ロボティクスが変えるこれからのAmazon Japanパッケージ(仮題)
内田 昌宏 氏【アマゾンジャパン(同) オペレーション技術統括本部 技術開発本部長】
阿部 淳 氏【アマゾンジャパン(同) オペレーション技術統括本部 技術開発部長】

■ 14:20-15:10 JAPAN PACKセミナー
グローバルなデータ連携、それに対応するOPC UA最新動向
樋口 毅 氏【日本OPC協議会 幹事/三菱電機(株)】

■ 15:40-16:30 JAPAN PACKセミナー
製造DXやIoTを段階的に実現するSMKL評価指標について
藤島 光城 氏【(一財)製造科学技術センター IAF SMKLプロジェクト 主査/三菱電機(株)】

GXステージ【東7ホール内】

■ 10:20-11:10 包装×GX特別セッション
脱炭素社会・循環型社会の実現に向けて
小高 篤史 氏【(株)川島製作所 業務執行役員 技術本部 技術部 次長】
環境配慮型ものづくりという挑戦
高木 陽介 氏【イーデーエム(株) プロダクト推進本部 環境技術部 ゼネラルマネージャ】
レーザー照射によるジッパーシール技術の開発
石本 宏輝 氏【トクニ技研工業(株) 設計部】

■ 11:40-12:25 CLOMAセッション①
包装の「コスト」と「環境」は両立できる 岡本 龍彦 氏【シンテゴンテクノロジー(株) 食品営業部 部長】
環境配慮型 A-PET容器及び耐寒容器のご紹介 兼山 明日風 氏【東名化学工業(株) 営業部・第一販売統括 第三セクション】
環境ラベル『エコマーク』活用のススメ 大澤 亮 氏【(公財)日本環境協会 エコマーク事務局 基幹・認証課 課長】

■ 13:00-14:00 CLOMAセッション②
LIMEXによる包装フィルムの環境負荷軽減 林 寛之 氏【(株)TBM LIMEX事業本部 用途開発部】
世の中の石油由来の化学製品を植物、バイオマス由来に置き換える(仮題) 森 良平 氏【GSアライアンス(株) 研究部 代表取締役】(予定)
プラスチック包装の環境対応課題の解決ー新しいPLA成形品ー 今井 宏樹 氏【NISSHA(株) 産業資材事業部 事業戦略部 サステナブル形成推進グループ長】
プラスチックごみゼロへの挑戦 前原 志保 氏【グンゼ(株) プラスチックカンパニーグローバル営業部 営業企画課 課長】

■ 14:30-15:30 CLOMAセッション③
容器包装の資源循環、GHG排出量可視化に向けた取り組み 福武 修太 氏【TOPPAN(株) 生活・産業事業本部 SX推進センター SX事業開発本部 マーケティング部】
アスカカンパニーのGX推進事例紹介 村瀬 貴浩 氏【アスカカンパニー(株) 営業本部 商品企画グループ】
ポリスチレンの資源循環、バイオマス化に向けたPSジャパンの取組み(仮題) 喜多 俊仁 氏【PSジャパン(株) 執行役員 企画管理部長 兼 サステナビリティ推進部長】(予定)
パッケージプロ/イダーとしての新たな価値創出～包装材料の環境対応 橋本 修 氏【レンゴー(株) 中央研究所 プレキシブルパッケージング研究開発部 部長】

プレゼン会場A【東7ホール内】

■ 11:50-12:35 出展者プレゼン
ヤマハの超音波式ヒートシール検査機
香田 光彦 氏【ヤマハファインテック(株) FA事業部 FA企画営業部 営業グループ 主事】

■ 13:00-13:45 出展者プレゼン
軟衛協・改正食品衛生法への取り組み(仮題)
逸見 るみ子 氏【軟包装衛生協議会 常務理事】

■ 14:10-14:55 出展者プレゼン
ラベルレスサーマル&RESCが起こす、次世代パッケージの変革
藤田 敏郎 氏【RNSスマートパッケージング(株) 経営企画室 経営管理グループ】
中野 聡人 氏【RNSスマートパッケージング(株) 第二営業部】

プレゼン会場B【東8ホール内】

■ 12:40-13:25 出展者プレゼン
設備保全DXことはじめ！導入事例から読み解く設備保全DX(仮題)
岡部 晋太郎 氏【(株)M2X 代表取締役】

■ 13:50-14:35 出展者プレゼン
ヒートシールの圧力定量化、データ活用による製品品質向上(仮題)
山本 夏穂 氏【富士フィルム(株) アドバンストファンクショナルマテリアルズ事業部】

ピッチ会場【東8ホール「Startup & Academic Area」内】

■ 10:30-10:50 (株)フツパー 「目”も”動”も”経験”も。包装業界を革新する、現場主義AI。」

■ 11:10-11:30 (株)アダコテック 「欠点分類AI「Shiwaketter(シワケッター)」で目視作業を大幅軽減！」

■ 11:50-12:10 柴田科学(株)「全自動透湿度計 WVTR-1の紹介」

■ 12:30-12:50 POLYMERIZE(同)「MIが導く次世代包装材料開発」

■ 13:10-13:30 (株)digglue 「リユースリサイクルを加速する資源循環DX「MateRe」の役割と導入効果」

■ 13:50-14:10 山形大学「ウェットコートによる水蒸気ハイドリア膜の開発」